

乾式キャスク仮保管設備の 設置工事実施について

平成24年6月25日

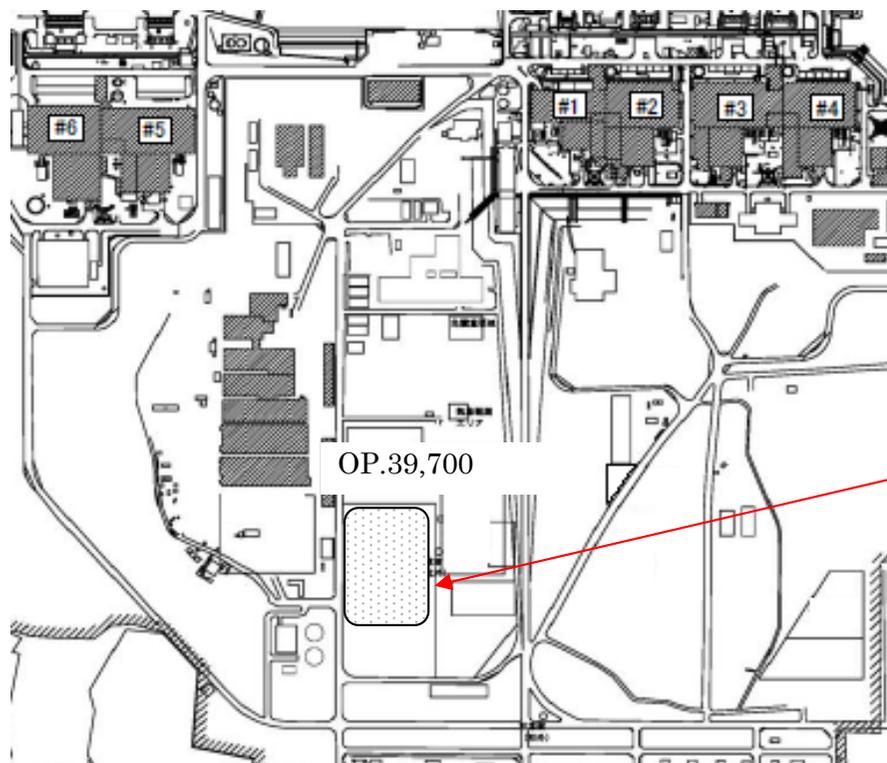
東京電力株式会社



東京電力

1. 乾式キャスク仮保管設備設置の目的

- 使用済燃料プールの燃料を共用プールに搬送するのに必要な空き容量を共用プールで確保する。
- 共用プールの貯蔵中の燃料をキャスクに充填し，発電所外まで搬出する間の仮置き場所を設置する。



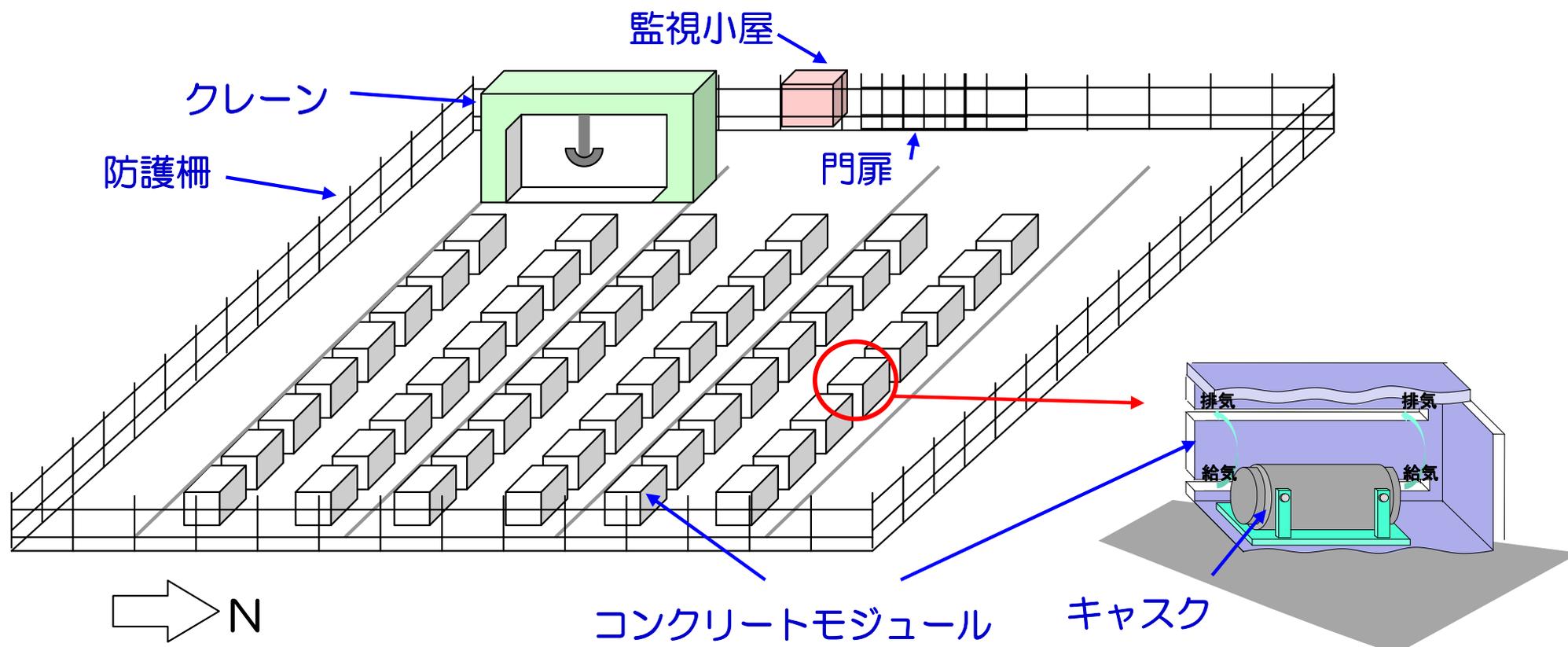
使用済燃料乾式容器仮置き場
(グラウンド内東側)



○ : 乾式キャスク仮保管設備

2. 乾式キャスク仮保管設備設置の概要

- 基数：50基（将来増設15基分のスペース確保）
- 保管カバー仕様はキャスク1基毎をコンクリートモジュールで覆うモジュール方式
- 基礎構造：地盤改良を行いその上に基礎版を敷設
- 既存キャスク保管庫と同様支持架台を設け，固定ボルトにより固定支持する
- R/B天クレと同等の安全機能（ワイヤ二重吊り等）を有する門型クレーンを設置



3. 乾式キャスク仮保管設備設置工事の概略工程（案）

- 設置工事の概略工程は以下の通り。
- キャスク搬入開始はH24.12～を予定。その後H25.11頃まで継続して搬入予定。
- H24.11迄に基礎工事、クレーン設置、電気工事、PP工事等を完了させその後、キャスク搬入に併せてモジュール、圧力/温度検出器取付等を継続。

年	平成24年									平成25年												
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
キャスク 仮保管 設備			着工▽		基礎工事																	
			[基礎工事継続]																			
				クレーン設置工事																		
											コンクリートモジュール組立											
										[コンクリートモジュール組立継続]												

4. 仮保管するキャスクの仕様

- 仮保管するキャスクの仕様は以下の通り。

項目	乾式貯蔵キャスク（中型）	乾式貯蔵キャスク（大型）
重量（t） （燃料を含む）	約 96	約 115
全長（m）	約 5.6	約 5.6
外径（m）	約 2.2	約 2.4
収納体数（体）	37	52
基数（基）	4（既設） 8（増設）	5（既設） 3（増設）
収納可能燃料	8×8 燃料、新型 8×8 燃料、 新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料 冷却期間 4 年以上（既設 9 基） 冷却期間 13 年以上（増設 11 基）	

項目	輸送貯蔵兼用キャスク A	輸送貯蔵兼用キャスク B
重量（t） （燃料を含む）	約 119	約 119
全長（m）	約 5.4	約 5.3
外径（m）	約 2.5	約 2.5
収納体数（体）	69	69
収納可能燃料	8×8 燃料、新型 8×8 燃料、 新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料 冷却期間 18 年以上	新型 8×8 ジルコニウムライナ燃料 冷却期間 18 年以上

5. 乾式キャスク仮保管の概要

- 運用開始後の各キャスク据付要領は概略以下の通り。

